



市議会だより

# にはほんまつ

第36号

9月定例会

平成26年11月1日発行  
発行：二本松市議会  
福島県二本松市金色403番地1  
Tel.0243-55-5143/Fax.0243-22-6047

## 第60回記念 二本松の菊人形

11月24日まで開催



二本松の提灯祭り



みんなのアイドル「菊松くん」



初の企画「ガーデンゾーン」



二本松少年隊

森林除染対策事業の増等 24億3千2百万円の補正予算を可決

定例会概要 2

決算審査特別委員会を設置 平成25年度決算を審査

特別委員会報告 4

行政課題の解決に向けて

常任委員会審査報告

常任委員会報告 6

市の明日を考える

一般質問に21人が登壇  
産婦人科常勤医師確保について ほか

一般質問 8

議会の動き・お知らせ

お知らせ 16

# 森林除染対策事業、 屋内市民プール整備事業の増等

9月定例会

## 24億3千2百万円の補正予算を可決

二本松市議会9月定例会は、9月2日から26日までの25日間を会期として開催されました。

今回提出された議案は、平成25年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定や平成26年度一般会計補正予算、市条例制定など市長提出議案34件、議員提出議案6件で、慎重に審議いたしました。

審議の結果、平成25年度会計歳入・歳出他21件の決算認定及び平成26年度一般会計補正予算他13件は、原案のとおり認定・可決されました。議員提出議案6件については、議員提出議案第14号が賛成多数で可決、他5件については全会一致で可決されました。

また、請願3件は、全会一致で採択されました。

### 条 例

#### ◎二本松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例制定について

子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準を定めるもの。

#### ◎二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例制定について

児童福祉法の規定に基づき、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるもの。

#### ◎二本松市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴い、引用法律の題名を改めるもの。

#### ◎中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例における引用法律の題名及び引用規定を改めるもの。

#### ◎二本松市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴い、父子家庭においても、母子家庭と同様の措置を講ずるため、所要の改正を行うもの。

#### ◎二本松市が経営する企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

阿武隈川上流流域下水道関連二本松市公共下水道の全体計画の見直しに伴い、計画処理区域面積を改めるもの。

### 補正予算

#### ◎二本松市一般会計補正予算

普通交付税本算定結果による歳入の補正、前年度繰越金確定による健全財政運営を図るための措置、社会保障・税番号制度の施行に伴う各種システムの改修に係る措置、除染の更なる推進を図るための措置、平成26年度当初予算編成後の資材費や労務費の上昇に伴う措置などを主として計上したもので、現計予算の総額に歳入歳出それぞれ24億3,243万円を追加し、予算総額を562億9,148万円としたもの。

#### (歳出の主なもの)

##### ○総務費

- ・決算剰余金を受けての財政調整基金積立金の増 166,629千円
- ・同じく減債基金積立金の増 337,371千円
- ・決算剰余金及びふるさと納税・復興応援寄附金を受けての地域振興整備基金積立金の増 301,013千円
- ・防犯カメラ設置費等防犯対策事業の増 4,925千円

##### ○民生費

- ・国県支出金の返還に伴う介護給付事業の増 12,832千円
- ・老人福祉施設等除染設計業務委託料の増 14,896千円
- ・ふくしま保育元気アップ緊急支援事業の増 5,205千円
- ・保育士等処遇改善臨時特例事業の増 6,373千円
- ・国庫支出金の返還に伴う生活保護扶助費の増 8,220千円

##### ○衛生費

- ・高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種化に伴う予防接種委託料の増 12,332千円
- ・生活用水確保対策・井戸ボーリング補助事業の増 7,200千円

##### ○農林水産業費

- ・「さくらの郷」災害対応型バルク設置工事等、管理運営経費の増 16,764千円

- ・畜産原発事故対策事業の増 41,127千円

- ・有害鳥獣捕獲活動事業の増 4,830千円

- ・森林除染対策事業の増 950,000千円

##### ○土木費

- ・向原上竹線整備事業の増 55,000千円

##### ○教育費

- ・屋内市民プール整備事業の増 349,972千円

##### ○災害復旧費

- ・岩代国保診療所除染業務委託料等の増 4,685千円

#### (歳入の主なもの)

- 普通交付税の増 134,575千円

- 前年度繰越金の増 777,696千円

#### ◎二本松市国民健康保険特別会計補正予算

社会保障・税番号制度の施行に伴う国保電算システム改修費の増、前年度繰越金の確定による補正措置。

#### ◎二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算

前年度繰越金の確定による広域連合納付金の精算措置。

#### ◎二本松市介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定において、社会保障・税番号制度の施行に伴う介護保険システム改修費と国・支払基金・県負担金等の返還金の増、前年度繰越金が確定したことによる補正措置。

#### ◎二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算

#### ◎二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算

第7配水池電磁流量計の修繕に要する経費を措置。

### その他

#### ◎工事請負契約締結

(仮称) にほんまつ保育所新築主体工事

## ○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第62号	平成25年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第63号	平成25年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第64号	平成25年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第65号	平成25年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第66号	平成25年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認について	原案認定
第67号	平成25年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第68号	平成25年度二本松市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第69号	平成25年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第70号	平成25年度二本松市安達簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第71号	平成25年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第72号	平成25年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第73号	平成25年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第74号	平成25年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第75号	平成25年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第76号	平成25年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第77号	平成25年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第78号	平成25年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第79号	平成25年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第80号	平成25年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第81号	平成25年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第82号	平成25年度二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第83号	二本松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例制定について	原案可決
第84号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例制定について	原案可決
第85号	二本松市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第86号	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決
第87号	二本松市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第88号	二本松市が経営する企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第89号	工事請負契約の締結について	原案可決
第90号	平成26年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第91号	平成26年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第92号	平成26年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第93号	平成26年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第94号	平成26年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第95号	平成26年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決

## ○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第9号	市長の専決事項の指定の一部変更について	原案可決
第10号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出について	原案可決
第11号	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書の提出について	原案可決
第12号	特別支援学校卒業者等の就業に係る環境改善を求める意見書の提出について	原案可決
第13号	障がいを持つ児童・生徒の就学に係る環境改善を求める意見書の提出について	原案可決
第14号	従軍慰安婦についての「河野談話」の見直しと日本国と国民の誇りを取り戻す現政府による「真実の談話」の発表を求める意見書の提出について	原案可決

## ○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第5号	障がいを持つ児童・生徒の就学・就業に係る環境改善を求める請願書	採 択
第6号	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書	採 択
第7号	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	採 択

# 平成25年度各会計決算を認定

平成25年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算は、第7回市議会9月定例会に上程され、9月8日に議長及び議会選出の監査委員を除く24人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、五十嵐勝蔵委員長、菅野明副委員長のもと、9月17日から19日の3日間にわたり、施策の重点事項に掲げた施策の目標ごとに、主な事務事業について、事業の成果・効果を主眼に総括審査を行い、また、19日から24日の3日間にわたり、4つの分科会を設置し、各分野ごとに重点的に検証を行う事業を選定した詳細審査を行いました。分科会での質疑終了後には、委員による討議や事業の成果・効果等の事業評価も行いました。

地方の財政環境が一段と厳しさを増す経済情勢を踏まえ、委員会審査及び分科会審査では25年度の行財政運営の実績や各施策の効果・成果などについて活発な議論を交わし、全会計の決算を認定しました。

## 決算審査の概要

### 総括審査

主な事務事業について、事業の成果・効果を主眼に各部ごとに審査いたしました。

#### 総務部

問 実質公債費比率が以前に比べ改善しているが、改善の要因と今後に向けた考え方は。

答 繰り上げ償還や、有利な利率の起債に借り替えを行った結果である。今後も同様に、有利な起債への借り替えや事務改善を行い、更なる公債費比率の改善に努めたい。

#### 市民部

問 防犯対策事業での防犯協会活動費補助について、補助額が少ないと思われるが、成果をどうとらえているのか。

答 各地区において活動していただいております。防犯面での成果は挙がっている。なお、補助額については、今後の検討課題としたい。

#### 福祉部

問 高齢者等生活支援事業での介護者激励金について、事業効果をどうとらえているのか。

答 家族介護者への激励を行い、意識高揚を図ることで、介護給付費の削減に役立っている。

#### 産業部

問 観光立市推進事業での、ふくしまディスティネーションキャンペーン推進事業補助の内容と、現在の事業目標達成率は。

答 はっぴ・のぼり・パンフレット等を作成しPRを行うなど各団体が事業に取り組んでいる。事業の進捗率の算定は難しいが、事業の目標については、ディスティネーションキャンペーンを機会に、現在220万人の観光客の入り込み数を、震災前の270万人に戻すことを目標としたい。

#### 建設部

問 茶園の市営住宅建て替え事業において、土地購入が行われたが、同敷地内での建て替えということではないのか。また、事業の進捗率は。

答 土地購入については、道路拡幅分を見込み宅地や駐車場用地を取得したものの。事業の進捗率は、完成戸数で言えば、40戸の建設計画のうち8戸が完成しているため2割。

#### 教育委員会

問 学習指導法改善事業での中学校の柔道授業における外部講師の指導状況と成果は。

答 講師3名が、一人当たり140時間から160時間、全ての授業で指導を行った。技術の習得や安全面の確保など大変役立った。

#### 上下水道部

問 二本松市上水道事業アセットマネジメント業務委託で得られた更新計画（施設修繕計画）等を具体的にどう生かしていくのか。

答 施設の修繕は、その施設の老朽化の年次に応じ、バランスを見ながら対応する予定。なお、新年度予算編成にも反映させていきたい。

### 分科会審査（詳細審査）

4つの分科会を設置し、重点的に検証を行う事業を選定し審査。委員による討議や事業の成果・効果等の事業評価も実施いたしました。

#### 総務分科会

8事業を重点検証事業に選定し審査。

#### 『市民との協働・地域振興事業の推進』

討議において、「4地域の均衡ある発展のため今後も継続すべき事業である。事業の本来の目的である『市民との協働による地域特性を活かしたまちづ

くりの推進』の趣旨に鑑み、支援事業の選定や選定組織のあり方、事業主体の明確化など一定の基準を設けるべきである。」との意見がありました。

### 市民産業分科会

34事業を重点検証事業に選定し審査。

#### 『生活用水確保対策事業』

討議において、「補正で追加予算を組んで、事業を必要とする人へは全て実施することができた実績について評価する。命を支える部分なので、水道未普及地区の安全安心な飲料水を確保するためには、今後も継続すべき事業である。」との意見がありました。

### 建設水道分科会

11事業を重点検証事業に選定し審査。

#### 『耐震化改修事業』

部分的な耐震化工事についても補助対象となり、以前より使いやすくなったが、耐震化工事には多額の工事費がかかることから、補助額上乘せも検討してもよいのではないかと意見がありました。

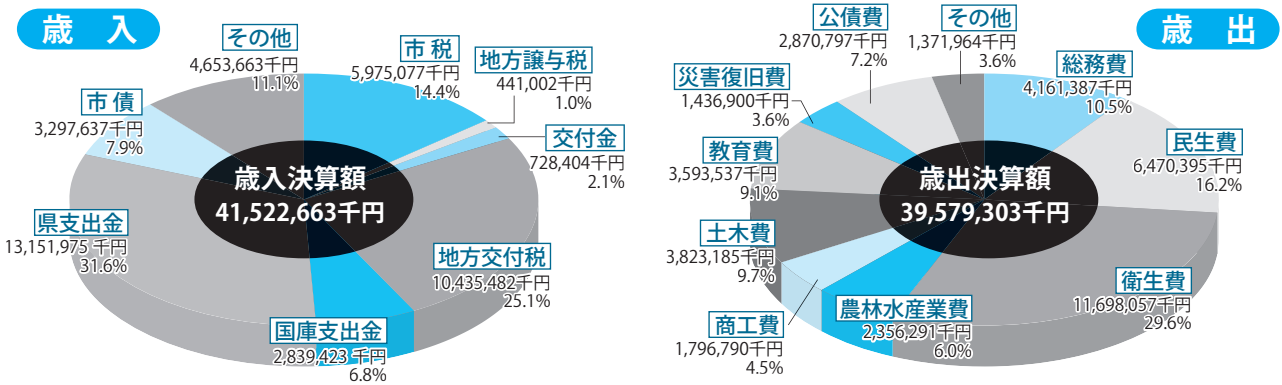
### 文教福祉分科会

25事業を重点検証事業に選定し審査。

#### 『結婚推進員設置事業』

討議において、「事業を検証する時期にきており、重点的に予算を配分するなど事業効果の得られるものとすべき」との意見や、「民間のアイデアを取り入れることや、民間企業・他市町村との連携も図るなどして効率的に効果を得られるようにすべき」との意見がありました。

## 一般会計決算



## 特別会計決算

(単位：千円)

区分	国民健康保険		後期高齢者 医療	介護保険		土地取得	公設地方 卸売市場	工業団地 造成事業
	事業勘定	直診勘定		保険事業勘定	介護サービス事業勘定			
歳入	6,732,378	123,138	522,691	4,860,788	26,235	220,113	8,299	83,278
歳出	6,443,462	121,368	520,770	4,711,238	17,772	220,113	7,759	83,278
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	288,916	1,770	1,921	149,550	8,463	0	540	0

区分	佐勢ノ宮住宅 団地造成事業	安達簡易 水道事業	岩代簡易 水道事業	東和簡易 水道事業	安達下水 道事業	岩代下水 道事業	茂 財産区	原 財産区	田 財産区	沢 財産区	石 財産区	平 財産区	針 財産区	道 財産区
歳入	28,915	25,033	114,784	309,395	226,200	66,096	1,422	268	2,718	115				
歳出	28,915	24,188	114,641	309,349	226,200	66,079	1,148	205	2,573	81				
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	123	0	0	0	0	0	0	0				
実質収支額	0	845	20	46	0	17	274	63	145	34				

## 企業会計決算

(単位：千円)

区分	工業団地造成事業	宅地造成事業	水道事業	下水道事業
収益的				
収入	0	0	943,673	630,747
支出	-	-	850,767	625,686
資本的				
収入	-	-	323,546	207,768
支出	-	-	877,350	538,755

# 常任委員会の審査報告

## 総務常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算について

**問** 社会保障・税番号制度負担金の積算根拠は。また、情報提供・照会を行うシステムを共同整備する中間サーバーの設置箇所は。

**答** 国で地方公共団体の規模やデータ量を勘案し按分した負担金となっている。中間サーバーの設置箇所は東日本、西日本それぞれ1箇所を想定している。

**問** 社会保障・税番号制度導入に伴う税電算システム改修委託料の財源の内容は。

**答** 改修委託料の3分の2が国庫補助金、残りが一般財源である。



机上審査の様子

## 市民産業常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算について

**問** さくらの郷の運営経費の増について、浄化槽の新設とあるが、今まではなかったのか。また、新設する浄化槽は何人槽か。更に、新設する災害対応型バルクとはどういうものか。

**答** さくらの郷の増築計画を進めている中で、既存の130人槽の浄化槽では処理能力が不足するため、230人槽の新たな浄化槽を設置する。災害対応型バルクは、現在使用しているLPガス50kgボンベ10本を、980kgのタンク1基にまとめて設置するものである。

**問** 農地中間管理機構について、二本松市で現在機構に土地を貸し出すという人は何人いるか。また、農地の貸し借りについて、この機構と農業委員会がどのようにかかわるのか。

**答** 農地中間管理機構と二本松市とで正式な委託契約がまだ済んでいないため、利用者もいない状況である。農業委員会とのかかわりについては、今後も農地の貸し借りについては農業委員会で確認されるものと考えている。

**問** 防犯対策事業について、商工会議所が防犯カメラを21台設置するものに対して補助するということであるが、設置を予定している箇所について把握しているか。

**答** 本町の裏通り、お城山周辺、岳温泉、高田橋入

口を含め、二本松地域の21箇所に設置する予定となっている。

**問** 住民基本台帳のマイナンバー制にかかるシステム改修について、外国の例では他人がなりすまして番号を取得する犯罪が急増している。個人情報漏洩させない対策はどのようなものか。

**答** システムは国で作成し、法定受託事務として市町村で運用しなければならないことになっているが、国はセキュリティを高め、外部から攻撃されないようにする方針である。

**問** 法テラスの相談実績はどのようにになっているか。

**答** 弁護士等による法律相談と、行政書士や司法書士等専門家による相談を全て含んだ件数で、平成25年度は年間を通して約1,600件、1月平均130件となっている。平成26年度は8月までの5か月間で約700件、1月平均140件となっており、昨年度を上回る数字で推移している。



現地調査の様子(防犯カメラ設置箇所)

9月8日に付託された各議案は、9月12日～16日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日26日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

## 建設水道常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算・市営住宅管理条例等の一部改正について

問 市営住宅の入居者選考にあたって、父子家庭の方はこれまでどのような取扱いがなされてきたのか。

答 入居者選考に伴う優先入居については、母子家庭のほか、生活保護の方や高齢者の方などが優先入居の対象となり、募集に際し入居者を募集する空き住宅のうち3割を優先枠として確保し、困窮度判定基準による点数を付け、点数の高い方を入居者に決定していた。これまで、父子家庭は優先枠の対象外であり、一般枠での入居募集であった。条例改正により、母子家庭、父子家庭とも同様の取扱いとなる。

問 安達駅周辺整備事業委託の東西自由通路整備工事については、平成28年3月までに完了する見込みか。

答 駅舎本体工事については来年12月に完成予定で

ある。今ある<sup>こせんきょう</sup>跨線橋の上り階段は取り壊す予定であり、完了は平成28年3月ということで現在進めている。



向原・上竹線（第2工区）整備事業 現地調査の様子

## 文教福祉常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算等について

問 子ども・子育て支援新制度の導入に向け、関係条例を整備しているが、国が示した基準と異なる基準としたところは。

答 国の基準では、「虐待の禁止」の項目を謳っているが、市の基準ではさらに、虐待されている子どもを発見した場合に、速やかに市へ報告を求める「虐待の通告」に関する項目を追加した。

問 （仮称）にほんまつ保育所新築主体工事の再入札にあたり、入札内容を見直した点は。

答 設計内容と工期の見直しが主な変更点である。設計内容については、建築資材費及び労務費が上昇している状況にあったことから、上昇分を加味した建築単価とした。

問 建設予定の屋内市民プールについて、故障等に素早く対応できるような、施設管理システムの導入は検討しているのか。また、工事のスケジュールは。

答 施設管理システムに関しては、実施設計の内容

が固まった時点で、施設全体の管理方法とあわせて検討、判断する。工事は、設計業務完了後、早期に入札を行い、議会の議決を得て工事に着手し、平成28年度の早い段階でのオープンを予定している。



中里保育園での現地調査の様子

## 一般質問

# 市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月8日から11日の4日間にわたり21人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

## 加藤 建也

[市政刷新会議]



- ①産婦人科常勤医師確保について
- ②市の観光産業活性化推進と経済活性化推進について

### 問

- ①医師不足が原因ではなく、受け入れ体制に問題があるのではないか。
- ②商業の街、旧市内市街地活性化、シャッター街復興対策は。



市内の商店街

### 答

- ①二本松病院の医師報酬については、近隣病院と比較し低いものではない。施設設備やスタッフの面でも再開の準備体制は整備されている。
- ②二本松中心市街地活性化協議会において、関係団体と行政が連携して対策を協議している。シャッター街対策は、建物の改修費や借上料について補助金を交付することとしており、商業者、住民が一体となって取り組む市街地の活性化事業を支援する。

## 石井 馨

[あぶくま会]



- ①中山間地の交通手段確保について
- ②児童生徒の学力向上について

### 問

- ①①冬場の降雪時における交通路確保について、除雪機配備状況と運用方法及び住民による除雪作業に対する助成の考えは。  
②コミュニティバスに代わるデマンドタクシーについて申し込み状況及び実施後の効果・問題点についての確認は行うのか。
- ②①全国学力テストの公表の考え及びどのように生かしていくのか、また土曜授業の考えは。  
②教科書選定についてどのような基準で行っているか。

### 答

- ①①除雪機配備状況は新たにホイールローダー2台を追加し95台体制の予定。除雪協力への助成は燃料、融雪剤等を支給する方針。  
②デマンドタクシーの申し込み状況は安達・岩代・東和地域で合計364件、ほぼ見込み通り。半年間の実績で問題点の抽出を行う。
- ②①結果公表は考えていない。各学校において結果を分析し改善を進める。土曜授業は考えていない。  
②採択地区協議会の報告を踏まえ採択していく。



## 佐藤 運喜

[市政刷新会議]



- ① 子ども・子育て支援制度及び学校教育について
- ② 産業（農業）、観光都市について

### 問

- ① ①子ども・子育て支援制度、その現状と今後について



未来を担う子どもたち～あだち保育園運動会～

- ② 学校教育活動全体の中で、「防災」「道徳」教育の強化導入は。
- ② ①米価下落に伴う農業の方向性について
- ② ②農商工、三位一体型の観光都市復興について

### 答

- ① ①「子ども・子育て支援事業計画」最終案を意見公募と会議を重ね、来年の1月を目途に策定する予定。
- ② ②命を守る避難訓練指導、市防災マップ活用で自衛実行の配慮をする。道徳は教科化の方向だが現在の授業を要として、校長会議や訪問指導を通じて充実を図っていく。
- ② ①自給飼料増産と耕種農家の所得確保を図り、集落談示により地域プランを年内目標に作成する予定。
- ② ②ふくしまDC二本松推進会議を中心に戦略的に施策を検討する。

## 高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 除染の実施状況と今後の実施計画について
- ② 観光振興策について

### 問

- ① ①公共施設、通学路、市道等の除染の実施状況と今後の実施計画について。

② ②農地、樹園地、水路等の除染の実施状況について。

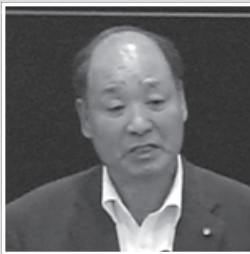
- ② ②25年度のイベント、施設別の入込観光客数について。

### 答

- ① ①小・中学校・幼稚園・保育所等子どもの利用施設は完了し、26年度は各支所・住民センターで実施。除染計画では、除染事業を平成27年度までに完了予定。
- ② ②水田2,467ha、樹園地69ha、草地665haは完了。現在は100haの草地除染を実施中。
- ② ②25年度入込観光客数は、238万人で前年度より7.95%増。道の駅安達が44万6千人、次いで霞ヶ城37万8千人、岳温泉27万6千人の順となっている。

## 深谷 勇吉

[真誠会]



- ① 空き家対策について
- ② 介護保険と高齢者福祉について

### 問

- ① ①空き家を解体しても5年か10年は宅地の税率を据え置く等、市独自の方策は。逆に空き家を活用し、お年寄りの憩いの場に利用する等、福祉の推進に役立てる等は。その場合、税の軽減は考えられないか。

- ② ②次年度以降、要支援者への対応は市町村費となるようであるが、本市ではどうとらえているか。また要支援者を第7次高齢者福祉計画と第6期介護保険事業計画の中ではどのように位置づけるのか。どのような介護を予定しているのか。

### 答

- ① ①税制面では、国の動きを注視し対応を進める。空き家活用については福祉や市街地の活性化、定住の促進など、施策の面で市全体で総合的に検討を行い、必要な対策を判断していく。

- ② ②介護予防給付費と同じ割合となっており移行によって負担が増えることは想定していない。現在のサービス水準を維持し、要支援者の身近で活動するサロンや団体等の協力も模索し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する。

## 本多 勝実

[市政刷新会議]



- ① 除染事業について
- ② 公共施設の環境整備について

### 問

- ① ①今年度の設計業務委託先を示してほしい。
- ②一般住宅除染の優先順位について、妊婦・子ども世帯にある除染物の敷地内保管は早急に対処すべき問題だが、どう考えているか。
- ② (平成24年9月の答弁以降の) 温水洗浄機付き便座とオストメイト対応トイレの推進の経過状況と今後の方針について。また、進捗状況が遅いのではないかと感じているが、どう考えているか。

### 答

- ① ①二本松市復興支援事業協同組合の見積書を基に検討・調整してきたが、今年度より県の指導で公的機関のふくしま市町村支援機構に委託せざるを得なくなった。
- ②住宅除染の目途がたった時点で仮置き場へ移送を実現したい。平成27年度以降になると考えている。
- ② 430施設中、68施設に温水便座275器(59器増設)、15施設に対応トイレ18器(6器増設)。新たな施設は、設計時点で配慮する。予算等もあるが、前倒しできるよう取り組む。

## 熊田 義春

[市政会]



- ① 豪雪被害によるハウスについて
- ② 豪雨災害の復旧状況について

### 問

- ① ①被害総数はどれくらいか(旧二本松、安達、東和、岩代の地域別、またパイプハウス、大型ハウス等の種類別に)。
- ②現在の進捗状況はどうか(補助事業の制度の内容)。
- ② 昨年7月27日及び8月5日の集中豪雨による道路等の被害総数はどれだけあったのか。

### 答

- ① ①地域別の内訳は、二本松403棟、安達319棟、東和162棟、岩代170棟。種類別ではパイプハウス993棟、鉄骨ハウス13棟、農業施設48棟で総数1,054棟である。
- ②補助率は国が事業費の2分の1、県は国の助成分に事業費の4分の1を上乗せし、市は10分の1.5を上乗せ助成する。自己負担は1割程度とし、早急な営農再開を促す。
- ② 市内の被災箇所は、道路が836箇所、河川19箇所、橋梁が1箇所の合計856箇所である。

## 堀 籠 新一

[真誠会]



- ① 災害復旧対策と災害の備えについて
- ② 市政運営について

### 問

- ① 大雪による除雪態勢について、除雪協力者への助成制度は。
- ② 合併後の市政運営について、合併10周年を迎える記念事業、イベント等の計画は。

### 答

- ① 個人、企業、団体等の市道除雪は「二本松市道路除雪ボランティア活動支援要領」により、燃料、融雪剤等を支給する方針とした。
- ② 来年12月で合併10周年を迎えることから、市の均衡ある発展と融和・一体感のさらなる醸成を図り、震災からの復興と本市の魅力を積極的に発信し、定住・交流の促進を図ることを目的に、合併10周年の記念事業、イベントを実施する。また、各種団体等が行う催事も、合併記念事業として支援する。

# 安 齋 政 保

[市 政 会]



- ①和紙伝承館について
- ②学童保育について

## 問

- ①和紙の原料生産について
  - ①楮(こうぞ)・ネリの栽培管理は。
  - ②今後和紙を伝承していくにあたって人材育成はどうされるのか。



和紙の原料となる楮の畑

- ②①今年度の申込み件数は何件か。
  - ②入所できない5・6年生の人数は。
  - ③入所できなかった児童に対しての市の考え方は。

## 答

- ①①地元農家の畑2,163㎡をお借りして地元の方と連携し、収穫時も含め草刈り等の作業をしている。ネリはふるさと村敷地内で栽培。
  - ②技術の保存、継承の為には大変重要な施設であり今後紙漉き職人を目指す若い人材を育成していく。
- ②①平成26年9月1日現在で467人、うち5・6年生は33人。
  - ②渋川小2人、川崎小1人計3人。
  - ③子育て環境の整備を最重点課題と位置付け、ニーズに応えられるよう施設整備を図っていく。

# 本 多 俊 昭

[真 誠 会]



- ①障がい者福祉施策について
- ②通学路における交通安全と防犯対策について

## 問

- ①①障がい者のための施設整備について、市内公共施設のバリアフリー化対策と、車いす用駐車場の設置状況は。
  - ②窓口で専任手話通訳者が常勤で対応することは可能か。
- ②①通学路の安全性は確保されているのか。また、国・県・市道の危険箇所における歩道整備は。
  - ②防犯教室は計画的に行われているのか。不審者情報の対応は。

## 答

- ①①430の施設のうち対応済・一部未対応は90施設、未対応は340施設。車いす用駐車場は、61施設109区画で区画表示をしている。
  - ②聴覚障がい者の今後の利用状況等の推移をみて検討していく。
- ②①通学路交通安全プログラムを周知し、安全確保に努める。歩道整備は、それぞれの管理者に対して引き続き設置要望していく。
  - ②警察署と連携して開催。不審者情報の対応については、関係機関と連携を図り保護者へ情報を提供。

# 菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- ①豪雨災害からの被害復旧対策について
- ②大雪時の除雪対策について

## 問

- ①①市道太郎田・正切線のうち、正切～川前間の復旧時期は。
  - ②太郎田・川前区間復旧に関し、県の治山事業の進捗状況は。また市道土砂撤去の見通しは。
- ②①除雪路線の公表方法についての検討結果は。
  - ②対策路線以外の住民への支援措置は。

## 答

- ①①十文字から正切までの復旧工事が契約となった。完成見通しは今年度末の予定である。
  - ②県は関連する松倉工区について10月には工事発注を予定。市道土砂撤去は9月下旬から開始し、年度末に完了予定である。
- ②①各支所・住民センターに除雪路線図を配置するほか各行政区や関係団体に周知することとした。
  - ②小型除雪機を支所・住民センターに配備する。市民による除雪協力には必要な燃料を支給する。

## 佐藤 有

[真誠会]



- ① 原発事故による除染について
- ② 定住促進と人口減少対策について

### 問

- ① ①除染により発生した除去土壌等、汚染物質の漏洩、破損はないか。  
②可燃性汚染物質の減容化施設の設置は。
- ② ①人口減少にどのように取り組むのか。  
②定住促進のための災害復興宅地開発は。

### 答

- ① ①除去土壌は仮置場また現場保管で埋設、地上置もガイドラインに則り施行され、適正かつ安全に保管されている。  
②国・安達地方広域行政組合の共同事業として、設置候補地を本市に絞り、環境省に下調査を依頼中。
- ② ①特に若い夫婦世帯への支援策として保育所・幼稚園保育料助成や定住促進奨励金支給、新婚世帯家賃助成金支給などを実施している。  
②重要な課題であるが、民間による開発促進が経済の活性化になる。

## 平栗 征雄

[市政刷新会議]



- ① 災害公営住宅建設について
- ② 教育現場の環境改善の取り組みについて

### 問

- ① 油井字根柄山地内のその後の経過について
- ② 教育現場の環境改善については、夏期休暇前にはどう対処されたのか。



環境整備された花壇

### 答

- ① 根柄山地内の復興公営住宅については、70戸の戸建てまたは2戸1棟の木造住宅を建築することで現在、造成設計、地質調査及び建築設計が実施され、今年度中に造成工事の発注、次年度以降建築工事の予定である。
- ② 教育委員長と教育長が当該教育委員会を訪問し対応について話し合うとともに、市民やPTAの気持ちを伝えた。当該生徒は指定された期日をもって、当該教育委員会の学校に就学することになった。

## 小林 均

[公明党]



- ① 道路の防災対策について
- ② 教育行政について

### 問

- ① 緊急時避難路や高齢者・障がい者施設に面した道路等を優先に、市道の安全確保のため、国の防災安全交付金を利用し、最新技術を活用した道路下空洞化調査を実施すべきと考えるが。
- ② ①地域の豊かな社会資源を活用した土曜教育を充実する考えは。  
②佐賀県武雄市で導入されている反転授業（ICT教育）の取り組みについて市の見解を伺う。  
③中学校の生徒指導の現状と今後の課題について

### 答

- ① 現在、防災安全交付金により舗装路面の維持管理計画を優先して策定し、補修工事を進めている。道路陥没の事前防止は、非常に重要であり、先進自治体の事例等を参考に、今後検討していきたい。
- ② ①スポ少の活動などをふまえ、効果や課題、影響などを検討し対応。  
②反転授業には様々な課題もあり、従前の指導法で取組んでいる。今後情報端末の活用等で対応したい。  
③現在、当該生徒は当該教育委員会の学校に移り指導を受けている。

## 平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- ① 子ども・子育て支援制度について
- ② 高齢者福祉について

### 問

- ① ①新制度の基本的な仕組みは。
  - ② 幼保連携型子ども園はこれまでと同じか。
  - ③ 膨大な事務量が考えられるが、職員増の考えは。
- ② ① 困難を抱えた高齢者を救済する福祉・保健等を再構築し、職員の増員、地域包括支援センターの強化を図り、自治体が救済する取組みが必要では。

### 答

- ① ① 「施設給付」・「地域型給付」を創設し、国の財政支援の仕組みを内閣府に一本化し、市が保護者の申請を受け、保育の必要を認定し給付する仕組みである。
  - ② 新たに教育・保育要領を策定し提供するように変わる。
  - ③ 全庁的なバランスを考慮し検討。
- ② ① 地域包括支援センターは今後の地域ケアシステムを構築する上で重要な部署。あらゆる高齢者の窓口となり、今以上に高齢者の支援ができるよう十分検討していきたい。

## 五十嵐 勝 蔵

[真 誠 会]



- ① 除染について
- ② 大手門整備について

### 問

- ① ① 空き店舗、空き家、屋外駐車場の除染について伺う。
- ② ① ① 庁内関係課による検討委員会の結果について伺う。
  - ② 大手門復元に必要な文献・絵画、設計に必要な基本的データや物証の発見・確認状況について伺う。

### 答

- ① ① 空き店舗、空き家については、所有者の確認、同意の取得などの課題があることから、平成27年度以降、屋外駐車場についても平成27年度以降に計画したい。
- ② ① ① 二本松城址総合整備事業を進める中で、大手門整備事業を含め検討、事前の打合せを行っている。
  - ② 二本松市史第一巻の記述にある絵図等は大手門復元のため必要な資料と位置付けているが、その他さらに建造物を特定することができる資料が発見されていない。

## 野 地 久 夫

[市政刷新会議]



- ① 可燃性廃棄物減容化事業について
- ② ソーラーシェアリングについて

### 問

- ① ① 減容化事業の進捗状況、建設工程時期について伺う。
  - ② 減容化物質の種類と推定量、稼働期間について伺う。
- ② ① ① 耕作放棄地への設置を伺う。
  - ② 耕作地への設置の考え方は。
  - ③ 第1種農地への設置を伺う。



耕作地のソーラーシェアリング

### 答

- ① ① ① 設置候補地を二本松市内の1か所に絞り、設置可能な場所かどうか国に下調査を依頼中である。建設工程時期は固まっていない。
  - ② 稲わら等約24,680 t、生活圏可燃除染物約83,920 tで、1日130 t処理で約3年、1日80 t処理で約5年の見込み。
- ② ① ① 農作物生産が基本で非耕作地では認められない。
  - ② 農作物生産が継続されれば可。
  - ③ 第1種農地でも農作物生産が継続されれば可能である。

## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 農業の振興について
- ② 支所機能の強化について

### 問

- ① ①中山間地域等直接支払い制度は第3期対策が本年度末で終了する。「継続を」の声が強いが、次期対策の動向は。
- ②田沢地区の口太川が土砂の堆積で、水田等への取水に支障が出ている。河川の浚渫（しゅんせつ）を県に求めるべきでは。
- ②水道の漏水など、市民が身近で相談できるようライフライン担当者を支所に配置すべきでは。

### 答

- ① ①平成27年4月施行の「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」の中で、中山間地域等における農業生産活動の継続を推進する取り組みとして位置づけられ継続される。
- ②支障状況を調査確認し、河川管理者である県に要望していく。
- ②漏水など災害発生時の迅速な対応には、市としても検討課題と認識している。緊急時に対応できるよう経験職員の配置や人材育成を図るなど、必要な検討を行う。

## 平塚 與志一

[無所属]



- ① 復興工業団地の進捗状況について（事業着手の見通し）
- ② 市民との協働による地域づくり支援事業について

### 問

- ① 前提条件の一つは、地権者と地元意向、二つ目は法手続き・県等関係機関との協議、三つ目には、立地企業の見通しであるが、これらの前提条件の進捗状況は。また、新工業団地の着手の見通しは。
- ② 昨年度と比較して事業配分費が多く変わった地域は。また、その金額は。

### 答

- ① 地権者数は102名、反対者は2名。現在協議中のものは、排水計画を含む河川協議と林地開発のみである。また、関心を示した企業は6社だったが、当面の立地は厳しい状況であり、見通しが立たない状況では、財政負担のリスクが大きく、事業化見合わせの状況は変わっていない。
- ② 昨年度2,000万円を本年度は倍増の4,000万円とし、二本松、安達、岩代、東和地域にそれぞれ1,000万円を配分。安達が570万円、岩代694万円、東和638万円が増額となった。

## 齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ① 水道料金の統一と第6次拡張計画について
- ② 学童保育について

### 問

- ① ①合併後の平成19年から11%値上げされ毎年8,000万円前後の黒字である。来年は合併10年。水道料金の統一を。
- ② 浪江仮設住宅の水道料金収入は。
- ③ 安達・吉倉地区の給水計画の前倒しはできないか。
- ② ①子育て新制度による基準は定員40人、6年生までとしているが。
- ② 発達障害を持つ学童保育は。
- ③ 油井の学童は安達支所の2階で定員を超え開設。17人が渋川で利用。独立した施設が必要では。

### 答

- ① ①合併後、料金統一しないのは上下水道だけ。現在事業の収支計画を委託しており、結果をふまえて中長期的計画を策定し検討していく。
- ② 3年半で5,800万円。
- ③ 全体計画と財政計画の中で検討していく。
- ② ①現在12施設467人入所。6年生までを対象とし施設・設備を充実させていく。
- ② 新たな指導員の配置を検討する。
- ③ 当面は支所の2階を拡張。将来的には新たな施設の検討が必要。

# 佐藤 源 市

[あぶくま会]



- ① 地域振興施設、事業の推進について
- ② 農業振興策について

## 問

- ① ①「ウッディハウスとうわ」における客層の多様化への施設内の改良は。また、管理運営にあたって地域住民の参加が必要ではないか。  
② 集落支援員制度の活動実態と今後の対応策について
- ② ①主食米需要低下による飼料米作付支援対策について  
② 農業用施設補助事業の拡充と施設の長寿命化対策について

## 答

- ① ①施設は20年が経過して老朽化が進み、修繕維持・改良については市長期総合計画の中で検討し進める。施設の管理は住民の声を反映する。  
② 集落の実態調査等の活動をし、各行政区の問題点等を聞き、今後課題を分析し地域活性化を創り出す。
- ② ①次年度の作付計画に反映し飼料米対策を推進し、専用種子助成等の支援策を検討する。  
② 農業施設整備事業への要望は多い。施設の長寿命化へ寄与できるため、今後、継続拡充していく。

## 9月定例会での討論

議案第63号 平成25年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

斎藤 広二 議員

**反対**

国保税を1人当たり前年比3.3%引上げ、11万1,628円としたが、決算では、4億4,682万円の黒字繰越額となった。

一方国保税の滞納額は前年比2.1%増の5億8,116万円で、特に低所得世帯の負担は限界となっている。

国保税の応能(所得)・応益(均等)負担で、応益割合を引き下げることが必要。国保会計の歳入である国庫負担が、長期にわたって引き下げられてきたために、国保税値上げが続き、滞納額増加の悪循環となっている。

議案第90号 平成26年度二本松市一般会計補正予算  
議案第91号 平成26年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算  
議案第93号 平成26年度二本松市介護保険特別会計補正予算

菅野 明 議員

**反対**

今回の3議案は、「社会保障・税番号制度(いわゆるマイナンバー法)」施行に伴う措置で、全ての国民に番号をつけ個人情報等を国が一括管理、徴税強化や給付抑制等をねらうもので、権力による国民監視やプライバシーの漏えい等が危惧され、導入の必要性は全くない。

情報漏えいや“なりすまし犯罪”の多発でイギリスでは制度廃止、米国、韓国では見直しが迫られている。

市民は番号がなくても日常生活に支障はなく、反対する。

議員提出議案第14号 従軍慰安婦についての「河野談話」の見直しと日本国と国民の誇りを取り戻す現政府による「真実の談話」の発表を求める意見書の提出について

平 敏子 議員

**反対**

朝日新聞の虚偽の報道取消しによって、強制性をすべて否定することはできない。

日本軍「慰安婦」に関する事実関係において、加害国である日本の裁判所が、厳格な証拠調査を行った結果、認定し、事実認定は特別の重さがある。「河野談話」の真実性は、日本の司法によって確かなものとなった。

日本国の国際的信用の回復、子どもたちに誇りを、女性の人権尊重は、事実をありのまま認め、謝罪し賠償すること。

二本松市議会に禍根を残す意見書提出に反対する。

高橋 正弘 議員

**賛成**

今般、朝日新聞社が、吉田証言報道が虚偽であったのを認め、記事の取り消しと謝罪をしたが、朝日新聞の虚偽報道により、影響を受けた河野談話が存在するかぎり、国際的には名誉回復は困難であり、政府により新事実に基づき「真実の談話」を発表することが大切である。

また朝日新聞自らが虚偽事件の取り消しを国際社会に説明することが重要である。

# 9月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決・認定・採択されています。

議案等名	議員名 議決結果	賛成: 反対	本多	佐藤	石井	加藤	本多	熊田	小野	安斎	深谷	菅野	堀籠	佐藤	菅野	小林	浅川	平	野地	平塚	斎藤	佐藤	斎藤	斎藤	高橋	五十嵐	平栗
			勝実	運喜	馨	建也	俊昭	義春	利美	政保	勇吉	寿雄	新一	有	明	均	吉寿	敏子	久夫	志一	広二	源市	賢一	周一	正弘	勝蔵	征雄
議案第63号 平成25年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	22 : 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号 平成26年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	22 : 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号 平成26年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	22 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号 平成26年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決	22 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第14号 従軍慰安婦についての「河野談話」の見直しと日本国と国民の誇りを取り戻す現政府による「真実の談話」の発表を求める意見書の提出について	原案可決	13 : 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。退は退席。 ※議長（中田涼介）は採決に加わっていません。

## 監査委員に斎藤賢一議員

7月18日に第6回（7月）臨時会が開催され、議員から選任する監査委員として、斎藤賢一議員を全会一致で同意しました。



## お知らせ

◎次回の定例会は12月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、本市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

【あて先】

〒964-8601 二本松市金色403番地1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp



## 市議会ウェブサイト

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにウェブサイトを開設しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ウェブサイトでは次の情報をご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 会議結果一覧
- 議会だより
- 会議録検索システム

※市議会ウェブサイトは二本松市ウェブサイト内にあります。



## 編集後記

今年も実りの秋となりました。水田には黄金色の稲穂が風にゆられ、大海原の波のようになり、私たちの目を楽しませてくれています。

26年産米の価格は前年より大幅な下落となり、生産農家にとってはたいへんな状況です。また一方では、野菜の高騰が続く、消費者の出費は増すばかりです。農業者、消費者ともに安定した生活を願うばかりです。

出荷量によって農産物の価格が極端に高くなったり、安くなったりするのではなく、バランスのとれた政策が必要だと思えます。

私たちが議会だよりの編集を担当しています。よろしくお祈りします。



### ◆ 編集委員会 ◆

- 委員長 深谷 勇吉
- 副委員長 小野 利美
- 委員 佐藤 運喜
- 石井 馨
- 加藤 建也
- 本多 俊昭
- 佐藤 有
- 野地 久夫